



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 Hm c o mm株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 三本 幸司
(コード：265A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 土屋 学
(TEL. 03-6550-9830)

連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）より、従来の単体決算から連結決算に移行いたします。
2026 年 12 月期通期連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結決算開始について

当社は 2026 年 5 月 11 日付でコラボテクノ株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、2026 年 6 月 30 日をみなし取得日として同社を連結の範囲に含めております。これに伴い、2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）決算より同社を連結子会社とする連結決算を開始しております。

2. 2026 年 12 月期の連結業績予想（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2026 年 12 月期	1,450	101	100	31	7.92

（注）2025 年 12 月期は連結決算を行っていないため対前年増減率は記載しておりません。

（ご参考）2026 年 12 月期の連結業績予想と前回公表した個別業績予想の比較

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
個別業績予想（A） （2026 年 2 月 13 日公表）	1,373	56	45	22	5.50
連結業績予想（B） （本日公表）	1,450	101	100	31	7.92
増 減 額（B－A）	76	44	54	9	—
増 減 率（％）	5.6%	78.8%	118.7%	43.9%	—
（参考）前期実績 （2025 年 12 月期個別）	1,112	38	39	18	4.52

（注 1）連結業績予想の当期純利益欄には、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しております。

（注 2）個別業績予想（A）と連結業績予想（B）の増減額には、コラボテクノ株式会社の新規連結に伴う業績取り込み（2026 年 7 月～12 月）に加え、当社単体における業績向上に伴う修正要因が含まれております。

3. 業績予想の概要

当社グループを取り巻く事業環境は、生成 AI および AI エージェントの社会実装が本格化する中、企業の DX・AI 投資需要を背景として堅調に推移しております。

このような環境のもと、当社は音声 AI・生成 AI・異音検知を中心とした既存事業の拡大に加え、顧客課題の整理から設計・実装・運用定着までを一気通貫で支援する FDE (Forward Deployed Engineering) モデルの展開、統合開発基盤 (FD-X: Flexibility Design X-Transformation / Expedition) の全社活用、および本社業務の自動化基盤 (NaNa: Next-Headquarters AI-driven Navigator for Administration) の推進を通じて、収益構造の抜本的な改革を進めてまいりました。

その結果、高付加価値案件の比率が上昇するとともに、開發生産性および案件採算性が改善し、さらに本社業務の効率化による販売費及び一般管理費の適正化したことで、当社単体の業績におきましても本業の稼ぐ力および収益性が大きく向上しております。また、下期におきましては、こうした当社単体の既存事業の受注環境が引き続き堅調であることに加え、連結子会社であるコラボテクノ株式会社との営業・開発両面におけるシナジー創出が本格化する見込みであります。

今回の連結業績予想（売上高 1,450 百万円、営業利益 101 百万円、経常利益 100 百万円）は、こうした「当社単体業績の順調な拡大・上方修正要因」に「コラボテクノ株式会社の下期業績の取り込み」を算定・反映させたものであります。

また、2026 年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期の個別業績予想につきましては、連結業績予想の公表に伴い、今後の業績予想を連結ベースに一本化することとし、個別業績予想につきましては非公表といたします。

今後も、音声 AI・生成 AI・異音検知分野における市場拡大を成長機会と捉え、高付加価値案件の拡大と継続的な収益性向上を推進してまいります。また、グループ会社との連携強化による営業力・開発力の向上を図るとともに、AI を活用した業務改革を継続し、さらなる利益率の改善および企業価値向上に取り組んでまいります。

なお、当社の中長期的な成長戦略である「Voice AI Agent Platform (VAAP) 戦略」につきましては、本日付で別途「AI プラットフォーム企業への事業転換に向けた「Voice AI Agent Platform」戦略の策定について」を公表しておりますので、併せてご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上